



平成 30 年 7 月 18 日

各 位

本社所在地 大阪府吹田市広芝町 9 番 33 号
会 社 名 日本 P C サービス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 家喜 信行
(コード番号：6025 名証セントレックス)
問 合 せ 先 執行役員 管理部長 宮本 義雄
(TEL：06-6734-7722)

株式会社オウケイウェイヴとの資本業務提携に関するお知らせ

記

当社は、平成 30 年 7 月 18 日開催の取締役会において、株式会社オウケイウェイヴ（コード：3808、以下、「オウケイウェイヴ」といいます。）と資本業務提携（以下、「本資本業務提携」といいます。）を行うこと、第三者割当によりオウケイウェイヴを引受先とする新株式（以下、「本新株式」といいます。）及び新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）の発行を決議致しました。なお、第三者割当についての詳細は本日付で別途開示する「第三者割当により発行される新株式及び第 1 回新株予約権の募集に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 資本業務提携の理由

当社グループの事業は、パソコンやタブレット端末、デジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問または電話で対応、解決するサービスの提供を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントとなっており、同事業はフィールドサポート事業及び会員サポートセンター事業に区分されています。

フィールドサポート事業においてはパソコンやパソコン関連機器を主たるサポート領域として、個人及び法人にサービスを提供しておりますが、特に、中小企業法人向けサポートに注力するため、専門チームを設置し、法人向け PC・ネットワークの設定保守サポートサービスを実施し、VR 関連機器・ロボットの修理や、IoT スマートホームの設定設置等の業務範囲を拡充し、顧客単価の上昇を推進しております。

会員サポートセンター事業においてはサービスの提供先に対して電話又はリモートによりパソコン・ネットワーク対応機器の設定・故障等の対応を行う「アフターサービス保証」等の会員

サービスを提供しております。これら会員向けのパッケージ商品の拡販やロボットコールセンターについてもサポート対象機器の拡充を図り、会員数の増加に努めております。

このような取り組みの結果、平成30年7月10日付で開示しました「平成30年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成30年8月期は増収・黒字化を見込んでいるものの、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上しており、早期の資本の増強とともに、顧客基盤及び事業領域を拡大し売上高及び利益の向上を図ることが必要であります。一方でオウケイウェイヴは、日本初、最大級のQ&Aサイト「OKWAVE」（以下、「OKWAVE」といいます。）を運営しており、150万人を超えるアクティブユーザー、4,600万件を超える感謝指数※1のデータベースを有しております。「OKWAVE」においては、企業や士業等の専門家を含む様々な立場の回答者が、悩みを抱えた質問者に優れた回答を無償で提供しています。そして、平成30年4月4日には、「OKWAVE」をベースに、感謝を価値化する新たな経済圏「感謝経済プラットフォーム※2」の開発に着手し、「感謝経済プラットフォーム」上に展開しうる様々な外部企業のユースケース（利用例）を検討しており、そのユースケースとなるパートナーの開拓が経営上の重要課題となっております。

同社の「OKWAVE」ユーザーにおける質問の中にはPCサポート周りの内容も非常に多く、身近なパソコン・デジタル機器の設定・修理に悩むユーザー属性は、当社のユーザー属性と非常に近く、「2. 本資本業務提携の内容（1）業務提携の内容」に記載の通り、両社のサービス内容やwebサイトを連携することによって相互の顧客動線を引くことが出来、より効果的なマーケティング施策が実現し、当社の顧客基盤の拡大と同社のサービスを当社顧客に提供することによる両社の顧客満足度の向上にも繋がります。更に、オウケイウェイヴの展開する「感謝経済プラットフォーム」のノウハウを共有し、「OKWAVE」内で同社の会員に対して当社がPC関連の質問に回答することによって感謝指数を獲得しつつ、感謝指数を獲得することによって得られる「OKWAVE」内の宣伝枠も活用しながら当社のサービスを訴求していきます。また、当社顧客が「OKWAVE」を活用してパソコン・デジタル機器の設定・修理サービス等の課題をオンライン上で解決できるようになることによる顧客の利便性の向上と、将来的には当社顧客間でも、感謝価値が「OK-チップ」※3として付与される仕組みを利用し、感謝価値に応じたサービスメニューを提供することによる顧客の囲い込みも可能となります。

※1. 「感謝指数」とは、「OKWAVE」内でユーザーが質問事項に回答してくれたユーザー等に「OK-チップ」を付与し、その回答してくれたユーザー等がどのくらい他者から頼りにされ感謝されているかをスコア化したオウケイウェイヴ独自の指標となります。

※2. 「感謝経済プラットフォーム」とは、オウケイウェイヴのAI・ブロックチェーン技術により、「良いことをしたらよい評価が返ってくることと、善意や感謝により加点され、社会の様々な場面で優待される」ことを目標として、上記の「感謝指数」や「OKWAVE」のユーザー同士が感謝の気持ちとして贈ることができるサイト内トークン「OK-チップ」を活用し、ユーザーがプラットフォーム内で参加企業からサービスを受けられることを可能とするオウケイウェイヴの提供するサービス総称したものとします。

※3. 「OK-チップ」とは「OKWAVE」のユーザー同士が感謝の気持ちをメッセージも含めて贈ることができるサイト内トークンの呼称です。

中長期的には、上記のとおりオウケイウェイヴが有するブロックチェーン技術に関するノウハウを活用し、「感謝価値の具現化」が実現することで、顧客の拡充と感謝指数で当社サービスがスコア化されることによる他社サービスとの差別化が得られると考えております。

これらの協業による提携効果を協議した結果、両社の企業価値の向上に資すると考え、また、当社の資本増強も実現することから本資本業務提携を締結するに至りました。

2. 資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

オウケイウェイヴの有するブロックチェーン技術・AI の知見を活用し、当社の展開するパソコン総合サービス事業の加速化を実現するための共同事業を展開するものとしています。当社及びオウケイウェイヴとの間で現時点において合意している共同事業に関する業務提携契約の内容は、以下のとおりです。

- ① オウケイウェイヴの展開する「OKWAVE」を通じて、当社の展開するパソコン・デジタル機器の設定・修理サービスのマーケティングプロモーションを展開し、顧客基盤の拡大を図ります。
- ② 当社顧客に対し、「OKWAVE」への動線を用意し、パソコン・デジタル機器の設定・修理サービス等の顧客の課題をオンライン上で解決できる専用サイトを構築し、顧客の課題解決を実施することにより、顧客満足度の向上を図ります。
- ③ オウケイウェイヴが展開する「感謝経済プラットフォーム」に参画することによってそのノウハウを共有し、当社サービス提供に対して感謝価値がチップとして顧客より付与される仕組みの構築を実施します。それにより、「OKWAVE」サイトの閲覧数が増加することはもとより、未解決の Q&A が減少することによって双方の顧客の満足度向上を目指します。また、「OK-チップ」を発行するためのソフトウェア開発をオウケイウェイヴに委託します。
- ④ 当社とオウケイウェイヴは、将来的には当社独自のトークンを開発し、ブロックチェーンを活用した顧客管理の効率化や当社サービスに対して当該トークンを利用し決済を行うなど、新たなサービスの可能性を模索します。

(2) 資本提携の内容

本資本業務提携に伴い、当社はオウケイウェイヴに対し、普通株式 130,000 株（発行済株式数に対する割合 9.11%。小数点第 3 位を四捨五入。以下、この（2）において同じです。）及び新株予約権（潜在株式数 130,000 株（発行済株式数に対する割合 9.11%））を割り当てます。なお、全ての新株予約権が行使されると合計で発行済株式数に対する割合は 18.21% となりますが、オウケイウェイヴからは新株予約権の行使により発行された当社株式については長期保有の方針はないと伺っております。資本提携の詳細は本日付で別途開示する「第三者割当により発行され

る新株式及び第1回新株予約権の募集に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 本資本業務提携相手先の概要

(1)	名称	株式会社オウケイウェイヴ		
(2)	所在地	東京都渋谷区恵比寿1丁目19番15号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 兼元 謙任		
(4)	事業内容	Q&Aサイト「OKWAVE」の運営及び関連する企業サービスの提供		
(5)	資本金	984百万円 (平成29年6月30日現在)		
(6)	設立年月日	平成11年7月15日		
(7)	発行済株式数	普通株式8,732,200株(平成29年6月30日現在)		
(8)	決算期	6月30日		
(9)	従業員数	143名(連結) (平成29年6月30日現在)		
(10)	主要取引先	第一生命保険株式会社、パナソニック株式会社、株式会社ビックカメラ、富士通株式会社、松井証券株式会社、マネックス証券株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、楽天株式会社 ほか		
(11)	主要取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行		
(12)	大株主及び持株比率	兼元 謙任 24.51% 楽天株式会社 18.27% MICROSOFT CORPORATION 10.31% 株式会社インプレスホールディングス 4.98% (平成29年6月30日現在) (注) 株式会社オウケイウェイヴが平成30年6月15日及び同年6月19日に公表しているとおり、楽天株式会社の持株比率は0%、MICROSOFT CORPORATIONの持株比率は9.57%となっております。		
(13)	当事会社間の関係			
	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、資本関係はありません。		
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、人的関係はありません。		
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、取引関係はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(14)	最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成27年6月	平成28年6月	平成29年6月	

連結純資産（千円）	1,291,243	1,382,848	1,491,574
連結総資産（千円）	1,688,785	1,787,096	1,850,967
1株当たり連結純資産（円）	147.36	156.84	169.48
連結売上高（千円）	2,737,363	2,410,315	2,411,724
連結営業利益（千円）	13,716	155,057	167,891
連結経常利益（千円）	47,582	141,852	182,882
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	21,282	73,459	123,672
1株当たり当期純利益（円）	2.45	8.42	14.17
1株当たり配当金（円）	0	0	0

4. 日程

①取締役会決議日	平成30年7月18日（水）
②資本業務提携契約締結日	平成30年7月18日（水）
③本新株式及び本新株予約権の割当日	平成30年8月9日（木）

5. 業績への影響について

本件に伴う平成30年8月期の業績に与える影響は軽微ですが、将来にわたって企業価値の向上に寄与する資本業務提携と考えております。

以上